

神話伝説の山里 たかちほごう つうしん

「高千穂郷」通信

平成23年3月号
(宮崎県西臼杵支庁)
NO.99

西臼杵ブロック民生委員・児童委員研修会の開催



民生委員・児童委員研修会の様子

3月2日、日之影町町民センターにおいて民生委員・児童委員研修会が開催されました。

これは、西臼杵郡内の民生委員・児童委員を対象に、委員の知識や技能の向上、委員間の情報交換等を目的として年1回開催されているものです。今回は3年ごとに実施される委員一斉改選の年でもあったため、新任委員研修も兼ねて実施されました。

午前中は、職務内容や役割、生活保護制度などについての説明、午後からは九州保健福祉大学の前田講師を招いて、住民の立場に立った支援活動のあり方について講義を受け、今後の委員活動に必要な知識や理解を深めました。

各委員からは、「有意義な話を聞くことができた。今後の活動に生かしたい。」といった声が聞かれています。

民生委員・児童委員は昨年12月の一斉改選で、郡内では98名の委員が厚生労働大臣から委嘱されています。3年間の任期中、それぞれの地域において、住民に最も身近な地域福祉の担い手として、常に住民の立場に立って活動を行っています。



熱心に受講される委員のみなさん

いきいき集落研修交流会



阿下集落の河野公民会長あいさつ

3月12日、日之影町深角地区地域交流センター（団七の館）で、「第4回いきいき集落研修交流会」が開催されました。

いきいき集落の名称は、津隈日之影町長と黒木西米良村長が、限界集落という名称を変更してほしいと前知事に提言し、多数の応募作品の中から決定したものだそうです。

当日は、89番目のいきいき集落に認定された日之影町阿下集落の河野公民館長に、いきいき集落連絡協議会の土持会長から認定証とのぼり旗が交付されました。

基調講演では、五ヶ瀬町夕日の里づくり推進会議の後藤福光会長が、桑野内地域におけるグリーン・ツーリズムのこれまでの道のりについて、笑いを交えながらわかりやすく講演いただきました。

お昼は、地元の婦人加工グループ「こぼるの里」による猪肉うどん、「興地さくら会」による栗おこわ、ちらし寿司、とうきびご飯、「鹿川地区活性化協議会」による地場産品オードブルが並べられ、その温かなやさしい味に、参加者一同大満足でした。

交流会では、深角地区の方々による県無形民俗文化財である団七踊りも披露され、地域で受け継がれる伝統文化を興味深げに見入っていました。

午後からは、日之影町集落支援員の岡田原史さん、高千穂町上川登集落の木村秀則さんによる事例発表があり、これらのさらりと光る取組が県内のほかの集落のヒントになったことと思います。

そして、NPO法人くらしのターミナル代表理事の初鹿野聡さんがコーディネーターをつとめ、日之影町深角地区甲斐公民館長を交えてパネルディスカッションがありました。

会場の五ヶ瀬中等教育学校の生徒さんや、東京から諸塚村に移住してきた方の意見を聞いたり、それぞれの集落での取組における課題、本物のおもてなしとは何か、心のふれあいとは何かなど、熱心な意見交換がなされました。会場の参加者はパネラーの方々の意見に共感しながら、明日への元気をもらっていました。



後藤会長の講演を聴く参加者のみなさん



パネルディスカッションの様子

中山間地域等直接支払制度協定代表者研修会



糸賀氏の講演会の様子

3月3日、中山間地域等直接支払制度協定代表者研修会（西臼杵地域担い手育成総合支援協議会、西臼杵農業改良普及事業協議会共催）が高千穂町自然休養村管理センターで開催され、253名の協定代表者が出席されました。

はじめに、昨年10月に実施した西臼杵郡集落営農アンケート調査について、西臼杵農業改良普及センターから結果報告がありました。

講演では、島根県の「農事組合法人おくがの村」代表理事の糸賀盛人氏から、「TPPよりPPK（ピンピンコロリ）～協同の力で地域を守る～」と題し、熱心な中にもユーモアを交えて講演をいただきました。

また、翌日の午前中に、高千穂町の中川登集落公民館において、「おくがの村」の早期法人化の取組等について有意義なお話をいただきました。



高千穂町中川登集落営農研修会の様子



研修会を終えて

(仮称)河内大橋上部工 連結式



連結式の様子

3月11日、高千穂町河内の橋梁上部工(L=422m)において、公民館長さんをはじめ、地元並びに工事関係者出席のもと『(仮称)河内大橋上部工 連結式』が行われました。

連結最後のコンクリート打設は、**田原中学校**の生徒さん達にも協力していただきました。

生徒さん達は、慣れないながらも、職人さん顔負けの段取り・手つきを披露してくれました。平成21年7月より建設着手した橋梁の桁が、**全て無事に連結**したことを祝うとともに、今後も無事故で完成に至れるよう関係者一同祈念したところです。



田原中学校生徒さんによるコンクリート打設の様子

身近な水辺のモニター



水生生物の調査の様子

3月3日、高千穂町押方の山附川にて『**身近な水辺のモニター**』を行いました。

このモニターは、河川の水質や水生生物等の調査を年に3~4回行うもので、モニターを委嘱している地元の『**山附溪谷ホタルの里**』の方々や、高千穂町の職員と実施しました。

山附川は、平成17年に大洪水で大きな被害を受け、その後、自然を考慮した災害復旧が行われましたが、調査では、水質・透明度など高い評価が得られ、水生生物も数多く確認できました。

特にホタルの餌となるカワニナは、平成20年度に調査を始めてから毎年増加しており、今年の6月には**幻想的なホタルの乱舞**が見られるものと期待しています。

今年度最後のモニターとなりましたが、来年度も引き続きモニターを続けて行く計画です。



捕まえた水生生物

管内3町椎茸振興会定期総会及び研修会が開催されました。



選別講習会の様子

しいたけ生産者の交流と生産技術の向上を図るため、3月上旬(高千穂町3月2日、五ヶ瀬町3月7日、日之影町3月8日)に西臼杵3町の**椎茸振興会の定期総会及び研修会**が開催されました。

総会に先立ち、宮崎県経済連、JA高千穂地区、種菌メーカーの担当者による選別講習会や栽培講習会が開催され、参加者の皆さんは真剣に耳を傾け、熱心に質問や情報交換をされていました。



増田副部長講演の様子

また、高千穂町の会場では、西臼杵林業振興協議会の活動の一環として、県林業技術センター特用林産部の**増田副部長**を講師に迎え、「原木しいたけ栽培における収量アップへの取組み~簡易操作法による増収効果~」と題して講演をしていただきました。

定期総会では、各町ごとに優良生産者の表彰が行われた後、平成22年度事業報告と平成23年度事業計画が承認されました。特に日之影町では、会長あいさつの中の、「今年こそ、**県乾しいたけ品評会**」の団体賞で津隈町長を表彰台に!!」という言葉に大いに盛り上がっていました。



日之影町甲斐会長あいさつの様子

今年は、冬の寒さの刺激で、たくさんのしいたけの**芽切り**が見られるとのこと。生産者の皆さんには今回の研修等を活かしていただき、適期の採取と選別の徹底を心がけ、多くの収穫があることを期待しています。

取材日記「日之影町派遣 福留尚仁さん」～おつかれさまでした！！

今回は、21年4月に県から「**中山間盛り上げ隊**」として日之影町に派遣されてきた**福留尚仁さん**をご紹介します。このたび、2年間のお務めを無事終了し、宮崎に帰ることになりました。

福留さんの仕事は、県の中山間施策関連事業を日之影町で推進すること、地元の方たちの意見を聞いて、水源の里振興の企画、施策に生かすこと等々です。

月に2回は地区の行事等に参加しながら、**ひたすら飲み、話しをし、**集落内でのコミュニケーションを取らせてもらったとのこと。

日之影町の印象は、がんばっている人たちが多くいことだそうです。職場は明るくてやりやすかったとのこと。これから、**高齢者も若者ももっともっと元気な町**になり、過疎化に歯止めがかかってほしいと心から願っているそうです。

温かく受け入れてくださった日之影町地域振興課の馬崎英俊課長からは、



日之影町地域振興課の楽しい面々～お世話になりました！！

「県から市町村に人的支援を行う今回の制度は、県の中山間施策に対する本気度を感じた。福留くんは、**地域に根ざした交流**を心がけ、消防団に入り、自治消防を自ら実践したり、大人歌舞伎、大人神楽などの地域の伝統文化を実際に体験し、後継者不足や高齢化などの深刻な課題を肌で感じてくれた。**想像以上の成果**を上げてくれたと思う。感謝したい。」との大変ありがたいお言葉をいただきました。

県庁では観光推進課に戻ることになりましたが、地域の空気感、価値観を大事にしながら、現場の声を理解した上で事業を作りたいとのこと。滞在してこそわかるその**地域での暮らし、生き方、生活の知恵**などを感じてもらおう観光の形を模索したいと熱く語ってくれました。

福留さん、2年間お疲れ様でした。またイベントには帰ってきてね。みんなで待ってますよ(^)/



大人歌舞伎・森蘭丸役
ちよっとかっこよく
ないですか？



お姉さま方に囲まれて、
うどん作りのお手伝いです。

自主研究グループの成果発表

西臼杵支庁では、西臼杵郡雇用拡大協議会地域雇用創造実現事業の方々の協力を得ながら、今年度自主研究グループを立ち上げました。今回は、西臼杵地域で行われている体験メニューを体験したり、土産品に関する考察をしながら、その課題と改善策を探る活動をしてきました。

3月14日に、県の自治学院において、その成果を発表してまいりました。

今後も研究を続け、西臼杵地域の活性化につなげることができたらと考えています。



自主研究グループ「西臼杵がまだせ会」発表の様子

編集後記

関東・東北大震災は、連日の報道によってその被害の甚大さの一部を知ることができますが、一体どれくらいの方がどんな問題で苦しみ助けを求めているのか、すべてを知ることには不可能です。

しかしながら口蹄疫、鳥インフルエンザ、新燃岳の大きな被害を受けた本県は、全国から温かいご支援や励ましをいただき、そのありがたさを身にしみて感じている分、私たちにできることを恩返しとして精一杯やらなければなりません。

自然の猛威の前にはなすすべもありませんが、みんなで助け合って立ち上がり、明るく元気な日本を取り戻したいと心から願います。

がんばれ日本！！(桃)

*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html